



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第6号

令和7年9月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

2学期もよろしく

おねがいします！

ていねいに生きる(始業式の講話から)

校長 富永 浩文

7月の糸魚川中学校の学校だより、「ていねいな生活を心がけましょう。一つ一つの言葉や行動を雑にせず、よく吟味して使うようにしていきましょう。」とありました。その「ていねいな生活」という言葉に、私は心が動かされました。特に、人とのかかわりの中で、とても大切なあり方であると感じ、以下のように始業式で子どもたちに話し、2学期学校生活のキーワードにしようと考えました。

(一部省略) 2学期のスタートにあたって、私は、皆さんに次のことをお話ししようと考えました。それは、「ていねいに生きる」ということです。皆さんは、生活の中で「ていねい」にするというと、どんな場面を思い浮かべますか。色々と思い浮かぶのではないのでしょうか。

例を一つ紹介します。今日の朝、私は各教室を回っていました。その時、1年生の教室でマスクを拾いました。名前が書いてありましたので、持ち主に渡しました。その子は、両手で受け取り頭を下げ、「ありがとうございます」とお礼を言いました。「ていねいだな」と感じました。その他にも、例えば言葉遣い。思いやりの心で言葉をかけること。何かを作るとき、心を込めたり、時間をかけたりすること。使うもの、食べものを大切にすること、などを思い浮かべるのではないのでしょうか。

いつもていねいであり続けることは難しいかもしれませんが、でも、人とのかかわり、特に友達とのかかわりの中では、相手を大切に、思いやって話をしたり、行動をしたりしてほしいと思います。

ていねいに生きる秘訣は、ちょっと立ち止まることです。そして、自分に問いかけたり、考えたりすることです。心のゆとりです。きっとていねいな言葉や行動が思い浮かぶはずですよ。そして、心を込めて行動できれば、それがあなたにとっての「ていねいに生きる」ということになるのです。

2学期は、持久走大会、わかばコンサートなど、皆さんが活躍する場がたくさんあります。その他にも、それぞれの学年には、色々としあそび活動、行事がありますね。人と競い合ったり、一緒に演奏したり、絵を描いたり、ものを作ったりすることがあるでしょう。目標をもって、友達や先生方と一緒に取り組んでいきましょう。そして、そうした取組の中で、「ていねいに」という気持ちを心のどこかに置いておいてくれるとありがたいです。

3日(水)、1年生が南能生小学校の子どもたちと交流しました。8人の子どもたちを迎え、学校紹介を聞いたり、学校探検やゲームをしたりしました。とても自然に、温かく接する子どもたち。毎日一緒にいる仲間のようです。南能生小学校の校長先生が、「糸魚川小学校の1年生がていねいに準備をして、ていねいにかかわってくれて、とても嬉しかったです。」と、話されていました。私もそのように思いました。



南能生小学校の子どもたちといっしょに

玄関まで見送り、手を振って別れを惜しむ子どもたち。二つの学校の子どもたちを隔てる雨上がりの空気は、ちょっとひんやりしていて、子どもたちの心のように澄んでいました。